

釜屋堀川周辺の農地を含む、鬼怒川の東側についても、広範囲

経済環境部長

釜屋堀川周辺の農地について、江連八間土地改良区では、橋本町、きぬ医師会からの八間堀川沿岸から全部南の農地は今後管理しないということとで理事会で決まった。このことについて答弁を求めます。

議員

土地改良区と話し合いを！

釜屋堀川周辺の農地について



喜見山 明 議員

に浸水の被害を受けた。被災した農地は受益地となっており、土地改良区や市が主体となり、国の補助を受け、復旧したところである。今後も地元の維持管理組合が管理している水路などの修繕に必要な補助を行い、営農に支障がないよう対応していきたい。

議員

大生、水海道地区の維持管理組合でも、負担金を納めていてお金が足りないので補助金で施設などが壊れた場合は修理している。維持管理に力があれば、江連八間土地改良区に負担金を納める必要もない。広大な農地を農家の維持管理組合の費用で管理できる状態ではない。私から全部一方的に話しているが、市民が大変なことになっている。市側が江連八間土地改良区と決裂しても、市でやるからという考えと維持管理費を払っている以上、払う側がきちんと言うべきだと思う。また、水海道はどうなっても構わないという考えだと私は思う。市民にも、市が全面的に面倒を見てくれるなら土地改良はどうでもいい。市側にきちんと申し出をしてくれとお願いされた。早急にこれを解決し、報告していただきたい。

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

出生数が死亡者数を下回る自然減と転入者数が転出者数を下回る社会減の二つが要因であり、市の人口では社会減が上回っている。災害の影響も多少あるが、19年から世帯数は上昇している

市民生活部長

26年1月の住民基本台帳によると、全国の総人口は1億2843万8348人という統計がでている。21年をピークに毎年連続で減少しているのが現状であるが、過去10年における市の人口推移について尋ねる。

議員

定住人口増を目指して

人口減少対策について



遠藤 正信 議員

のが現状である。全国平均を見てもその数値は市とほぼ変わらない。地方創生で国も試みているが、なかなか現実が伴わないのが現状である。市の定住人口を促進するにはどのような考えがあるか、新築する場合は補助といった先進事例をどう捉えているか。

総務部長

昨年6月にまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、新しい人のながれをつくる施策や子育て支援などさまざまな人口減少対策を位置付けている。具体的には、若年夫婦世帯および子育て世帯の住宅取得や改修、3世代同居や近居を支援するためいきいき住マイル支援補助金を行っている。また、復興のシンボルとして豊田城のリニューアル、新たな総合計画である常総未来創生プランを策定し、安定的な定住促進策を推進していく。

議員

将来的な総合計画は10年前で前期5年と説明を受けたが、常総市には他の地域にはない、すばらしいものがある。何とか人口増になるよう、定住人口を多くしていく形になるよう推進していただきたい。